

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-135	16-081	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名（原題／訳）</b>		
<p>Prevalence of alcohol consumption during pregnancy and Fetal Alcohol Spectrum Disorders among the general and Aboriginal populations in Canada and the United States.</p> <p>カナダとアメリカの一般住民および先住民における妊娠中アルコール摂取頻度と胎児性アルコール・スペクトラム障害</p>		
<b>執筆者</b>		
Popova S, Lange S, Probst C, Parunashvili N, Rehm J.		
<b>掲載誌</b>		
Eur J Med Genet. 2017 Jan;60(1):32-48. doi: 10.1016/j.ejmg.2016.09.010. Epub 2016 Sep 13.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
胎児性アルコール障害、胎児性アルコール・スペクトラム障害、北アメリカ、妊娠中アルコール摂取		27638329
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> カナダとアメリカの一般住民および先住民における妊娠中アルコール摂取および多量飲酒、胎児性アルコール症候群（FAS）および胎児性アルコール・スペクトラム障害（FASD）の割合をメタ解析により算出する。</p> <p><b>方法：</b> カナダとアメリカにおける妊娠中アルコール摂取に関する 125 論文（一般住民対象 115 [うち多量飲酒に関するもの 20]、先住民対象 10 [うち多量飲酒 4]）および FAS/FASD に関する 40 論文（一般住民 27、先住民 13）の系統的レビューおよびメタ解析を行い、各住民のアルコール摂取、多量飲酒、FAS および FASD の有病割合をランダム効果モデルにより算出した。</p> <p><b>結果：</b> 一般住民における妊娠中のアルコール摂取割合はカナダ 10.0%、アメリカ 14.8%、多量飲酒はそれぞれ 3.3%、3.1%であった。一方、先住民におけるアルコール摂取割合はカナダ 36.5%、アメリカ 42.9%、多量飲酒はそれぞれ 22.1%、14.6%と高値を示した。FAS および FASD の有病割合は、カナダの一般住民でそれぞれ 1.1/1000、5.3/1000、アメリカの一般住民では 2.3/1000、15.2/1000 であったのに対し、カナダの先住民では FAS が 41.6/1000、FASD が 86.8/1000、アメリカの先住民ではそれぞれ 3.8/1000、9.5/1000 であった。</p> <p><b>結論：</b> FAS および FASD の有病割合は、先行研究の不足と方法論的限界のため必ずしも信頼できる値とは言えないが、妊娠中のアルコール摂取と FASD の有病割合を低下させるために、国全体での有効な予防対策と監視体制を早急に掲げる必要がある。</p>		